



「マツダを作った松田重次郎物語～府中町から世界へ～」の読み語り

読み語り「ひだまりの会」の石内さんが、マツダの創業者の松田重次郎さんの紙芝居を作られました。紙芝居を作られるきっかけとなったのは、ホンダの創業者である本田宗一郎さんの伝記を読み聞かせされたことだそうです。府中町でのものづくりと言えば、自動車のマツダがある、その創業者である松田重次郎について紙芝居を作ろうと思われたそうです。

石内さんは松田重次郎さんについて調べられ、マツダの会社にも内容を見てもらって紙芝居を作られたそうです。

5年生は社会科で様々な産業の学習をしています。工業生産の学習でマツダの自動車産業についても学習をしています。そこで、石内さんに「マツダを作った松田重次郎物語～府中町から世界へ～」の読み聞かせを5年生全員に向けてしていただきました。石内さんはこの物語の中で松田重次郎さんのように「不撓不屈」、どんな困難や逆境にも負けず決して心をくじけずにがんばってほしいという話もされました。

子供たちは真剣に話に聞き入っていました。話の内容も分かりやすく、地元府中町の産業を作った身近な人である松田重次郎さんの思いや苦勞を知ることで、授業への関心を高めることができたようでした。ありがとうございました。

【子供たちの感想】

- この物語を自分で作られていてすごいなと思いました。松田重次郎さんのことをとてもよく知ることができました。
- 松田さんはあきらめなかったから、ここまでがんばることができたと思います。あきらめないことは大事だと思います。
- 松田さんはいろんな困難にぶつかっても1つずつ乗り越えていったことがすごいと思いました。自分もそのように生きていきたいです。
- 松田さんは「機械が好き」という気持ちを持ち続けていたことが心に残りました。これから、自動車作りを学習していく時にもっと松田さんについて知っていきたいと思いました。そして、松田さんの生き方を自分の夢につなげ、いかしていきたいと思いました。



学びの秋、サポートをありがとうございます

秋を感じる図書コーナーに

10月15日（木）に11名の図書ボランティアの皆さんが来られ、図書コーナーの掲示の模様替えをされました。子供たちが四季を感じられるように季節に合わせた掲示をしてくださっています。いのちの本棚コーナーを含め図書コーナーの掲示が秋らしく紅葉に変わりました。子供たちが秋の季節を感じながら気持ちよく本に親しめるように工夫をされ、読書環境を整えていただいています。



校外学習の見守りで充実した学びに

本校の校外学習では保護者の皆さんに見守りボランティアとしてご協力をしていただいています。子供たちが安全に学習ができるように、移動時の安全の確認や学習場所での見守りなど細やかな支援を行ってくださっています。

子供たちに温かく声をかけながら、安心して学習できる環境づくりを支えていただいています。

1年 生活科「たのしいあきいっぱい」 多家神社へ

大変でしたが、子供たちはかわいかったです。



4年 総合的な学習の時間 「知りんさい、守りんさい、 備えんさい」（防災） 府中町砂防堰堤へ

砂防ダムのことを知るよい機会となりました。



3年 社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」 ユアーズ府中店へ

少しの時間ですが、課外活動に参加できて楽しかったです。



2年 生活科 「みんなで使う 町のしせつ」 府中交番、えのみや郵便局、多家神社、ハッピーズ

授業参観とは違う子供たちの一面を見ることができてよかったです。

